

様式1:大西洋入域船用(Format 1: For vessels which enter Atlantic Ocean)

<本紙を含めて船上保持すること>

農林水産大臣 殿

ATTN: Your Excellency, Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

住所  
Address

Eメールアドレス  
E-mail Address

氏名又は名称  
Name of Owner

かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌(総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)  
The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels

報告書総数(本紙含む)全 4 枚  
Total pages including this covering sheet

報告年月日 Reporting date	年 月 日 Year Month Date	報告取扱責任者名 Name of Person in charge of reporting	TEL ( )
船長名 Name of Master		船長住所 Address of Master	
出港年月日 Departure Date	年 月 日 Year Month Date		港 (PORT)
入港年月日 Port Entering Date	年 月 日 Year Month Date		港 (PORT)
航海日数 Number of Navigation Days	日 (Days)	操業日数 Number of Operation Days	日 (Days)

船舶名 Name of Vessel		信号符字 Call Sign		許可番号 License No.	T 第 号
総トン数 Gross Tonnage	トン (tons)	漁船全長 Overall Length	m	漁船登録番号 Register Number	-
RFMO登録番号 RFMO Record No.	ICCAT			IOTC	
	IATTC	CCSBT		WCPFC	
乗組員数 Number of Crews	人	IMO番号(有している場合のみ記入) IMO No. (If available)			

漁業種類 Type of Fishing Gear	1. かつお・まぐろ漁業(専業) Tuna Longliner (Standard Abbreviation of ISSCFG: LLD)	
漁具 Fishing Gear	操業方法 Operation Method	
	幹縄の種類 Material of Main line	
	枝縄の種類 Material of Branch line	

漁具の仕立て Dimension of Fishing Gear		
枝縄長 Length of Branch line		m
浮縄長 Length of Buoy line		m
枝縄間隔 Interval of Branch line		m

\* 換算係数は別紙記載のとおり(The conversion factor is as described in the attached paper.)

(令和3年8月改正)

かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌(総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)(The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels)

Signature of Master  
船長署名

Signature of Observer (if applicable)  
オザーバ-署名(該当する場合)

Page  
頁

船名	丸	許可番号	第	号	信号符号
年 月		出港年月日 年 月 日			

日 Date	操業開始位置 * Position at starting to set the gear *				Operaton start time 操業開始時刻	Operaton end time 操業終了時刻	Time difference from JST 日本標準時との 時差(±)	Sea surface 温度・気候・ 気圧・S 降し / Asahi / S 降し / Fisric / address / 時差(±)	Sea surface 海面傾度	Total number of hooves 使用釣り鉤数 (Number of hooves used in the set)	Number of light sticks 発光体の使用数 used in the set	餌の種類 Type of bait	混獲回避措置 Bycatch mitigation measure	メカリングの 使用数 Number of ring hooks* used in the set	魚種別漁獲量 (左側には尾数を、右側上段には製品重量(kg)、右側下段には、原魚重量(kg)を記入 すること。) Box of Left side : Number of pieces, Upper Box of right side : Processed weight(kg), Lower Box of right side : Round weight (kg)			
	緯度 Latitude		経度 Longitude												まぐろ類 (Tunas)			
	度・分 S	の別 別	度・分 E	の別 別											くろまぐろ BFT/PBF	みなみ まぐろ SBF	びんなが ALB	めばち BET
①															0	0	0	0
②															0	0	0	0
③															0	0	0	0
④															0	0	0	0
⑤															0	0	0	0
⑥															0	0	0	0
⑦															0	0	0	0
⑧															0	0	0	0
⑨															0	0	0	0
⑩															0	0	0	0
⑪															0	0	0	0
陸揚等年月日 Date of offloading	陸揚港 (港名・国名) Port of offloading (Name・Country)		転載港 (港名・国名) Port of transshipment (Name・Country)		洋上転載の位置 Position of transshipment at sea (Lat/Long)				(1) 陸揚等尾数合計 Total number of pieces of offloading									
	運搬船名 Name of carrier vessel		運搬船の船籍 Flag of carrier vessel		運搬船のRFMO番号 RFMO No. of carrier vessel				(2) 陸揚等重量合計(キロ/kg) Total weight of offloading				0 0 0 0					

\* 操業を行わなかった日については、正午位置を記載すること。  
\* Noon position must be recorded in case no operation is conducted during the day.

日	魚種別漁獲量(左側には尾数(「その他のさめ類」については、魚種No及び尾数)を、右側上段には製品重量(kg)、右側下段には原魚重量(kg)を記入すること。) Box of Left side : Number of Pieces, Upper Box of Right side : Processed weight(kg), Lower Box of Right side : Round weight (kg)																
	まぐろ類 (Tunas)		かじき類 (Billfish)							かつお		がすとろ	その他の魚類 Other fish	さめ類 (Sharks)			
	きはだ YFT	めかじき (総量) SWO (Total)	めかじき (メカリング) SWO (By Ring Hook)**	まかじき MLS/WHM	くろかじき BUM	しろかじき BLM	ばしよ かじき SFA/SAI	ふうらい かじき SSP	SKJ	BUK		よしきり ざめ BSH	あおざめ SMA/MAK	その他さめ類 Other Sharks			
①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

魚種No.: 「10」:めじろざめ類(CCP)、「11」:よごれ(OCS)、「12」:くろとがりざめ(FAL)、「20」:おながざめ類(THR)、「21」:にたり(PTH)、「22」:はちわれ(BTH)、「23」:まおなが(ALV)、「30」:しゅもくざめ類(SPN)、「31」:いんどしゅもくざめ(EUB)、「32」:ひらしゅもくざめ(SPK)、「33」:しろしゅもくざめ(SP2)、「40」:ねずみざめ類(MSK)、「41」:ねずみざめ(POR/LMD)、「80」:その他のさめ類(SKH)

使用した餌の種類No.: 「1」:魚のみ(Only fish)、「2」:イカのみ(Only squid)、「3」:魚・イカ混合(Fish and squid)、「4」:その他(Others)  
混獲回避措置No:「0」:実施せず(Not implemented)、「1」:トリライン1本(Single tori-line)、「2」:トリライン2本(Double tori-line)、「3」:夜間投縄(Night setting)、「4」:加重枝縄(Weighted line)、「5」:舷側吹流し・加重枝縄を併用した舷側投縄(Side setting with a bird curtain and weighted branch lines)、「6」:青色染色餌(Blue-dyed bait)、「7」:投縄機(Deep setting line shooter)、「8」:水中投縄機(Underwater setting chute)、「9」:残さ排出管理(Management of offal discharge)、「10」:鉤覆い装置(Hook-shielding device)、「11」:ねむり鉤(Circle hook)

重量の把握方法は次のとおりとする:(製品重量)船上での重量実測・計数、(原魚重量)別添換算係数による推計  
Means of weight measure are as follows:(Processed weight) Weighing on board and counting, (Round weight) Estimation by attached conversion factor

\*\*「メカリング」は、リングのような形状をしたメカジキを対象とした漁具の一つです。メカリングは、つり鉤の代わりに枝縄に付けて使用されます。  
\*\* "Ring hook" is one of fishing gears targeting for swordfish, which looks like a ring. Ring hooks are attached to branch lines instead of hooks. (令和3年8月改正)

混獲生物等の情報

船長署名

船名	丸	許可番号	第	号	信号符字
年 月			出港年月日 年 月 日		

年月日	放流又は投棄した魚類						
	マグロ・カジキ類		サメ類				
	尾数	尾数	ヨシキリザメ	ネズミザメ	アオザメ	その他のサメ類	
(1)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(2)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(3)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(4)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(5)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(6)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(7)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(8)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(9)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(10)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )
(11)	魚種No.( )	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	魚種No.( )	魚種No.( )

年月日	カメ類						鳥類				
	アカウミガメ	アオウミガメ	オサガメ	タイマイ	ヒメウミガメ	その他のカメ類及び不明	アホウドリ類	ミズナギドリ類	オオフルマカモメ類	ペンギン類	その他の鳥類及び不明
(1)	全数 生存数( )										
(2)	全数 生存数( )										
(3)	全数 生存数( )										
(4)	全数 生存数( )										
(5)	全数 生存数( )										
(6)	全数 生存数( )										
(7)	全数 生存数( )										
(8)	全数 生存数( )										
(9)	全数 生存数( )										
(10)	全数 生存数( )										
(11)	全数 生存数( )										

(令和3年8月改正)

マグロ・カジキ類 魚種No.: ①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明

サメ類 魚種No. 「10」:メジロザメ類、「11」:ヨゴレ、「12」:クロトガリザメ、「20」:オナガザメ類、「21」:ニタリ、「22」:ハチワレ、「23」:マオナガ「30」:シュモクザメ類、「31」:インドシュモクザメ、「32」:ヒラシュモクザメ、「33」:シロシュモクザメ、「80」:その他のサメ類、「90」:種不明

様式2:大西洋入域船以外の漁船用(Format 2: For vessels which don't enter Atlantic Ocean)

<本紙を含めて船上保持すること>

農林水産大臣 殿

ATTN: Your Excellency, Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

住所  
Address

Eメールアドレス  
E-mail Address

氏名又は名称  
Name of Owner

かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌(総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)  
The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels

報告書総数(本紙含む)全 3 枚  
Total pages including this covering sheet

報告年月日 Reporting date	年 月 日 Year Month Date	報告取扱責任者名 Name of Person in charge of reporting	TEL ( )
船長名 Name of Master		船長住所 Address of Master	
出港年月日 Departure Date	年 月 日 Year Month Date		港 (PORT)
入港年月日 Port Entering Date	年 月 日 Year Month Date		港 (PORT)
航海日数 Number of Navigation Days	日 (Days)	操業日数 Number of Operation Days	日 (Days)

船舶名 Name of Vessel		信号符字 Call Sign		許可番号 License No.	T 第	号
総トン数 Gross Tonnage	トン (tons)	漁船全長 Overall Length	m	漁船登録番号 Register Number		
RFMO 登録番号 RFMO Record No.	ICCAT			IOTC		
	IATTC	CCSBT		WCPFC		
乗組員数 Number of Crews		人	IMO番号(有している場合のみ記入) IMO No. (If available)			

漁業種類 Type of Fishing Gear	1. かつお・まぐろ漁業(専業) Tuna Longliner (Standard Abbreviation of ISSCFG: LLD)	
漁具 Fishing Gear	操業方法 Operation Method	
	幹縄の種類 Material of Main line	
	枝縄の種類 Material of Branch line	

漁具の仕立て Dimension of Fishing Gear	
枝縄長 Length of Branch line	m
浮縄長 Length of Buoy line	m
枝縄間隔 Interval of Branch line	m

(令和3年8月改正)



混獲生物等の情報

船長署名

船名	丸	許可番号	第	号	信号符号
----	---	------	---	---	------

年	月	出港年月日	年	月	日
---	---	-------	---	---	---

年月日	放流又は投棄した魚類						
	マグロ・カジキ類		サメ類				
	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(1)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(2)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(3)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(4)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(5)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(6)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(7)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(8)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(9)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(10)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
(11)	尾数	魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数

年月日	カメ類						鳥類				
	アカウミガメ	アオウミガメ	オサガメ	タイマイ	ヒメウミガメ	その他のカメ類及び不明	アホウドリ類	ミズナギドリ類	オオフルマカモメ類	ペンギン類	その他の鳥類及び不明
(1)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(2)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(3)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(4)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(5)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(6)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(7)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(8)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(9)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(10)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数
(11)	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数

(令和3年8月改正)

マグロ・カジキ類 魚種No.: ①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、  
⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明  
サメ類 魚種No. 「10」:メジロザメ類、「11」:ヨゴレ、「12」:クロトガリザメ、「20」:オナガザメ類、「21」:ニタリ、「22」:ハチワレ、「23」:マオナガ  
「30」:シュモクザメ類、「31」:インドシュモクザメ、「32」:ヒラシュモクザメ、「33」:シロシュモクザメ、「80」:その他のサメ類、「90」:種不明







かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌 (釣りによる漁業)

令和2年12月1日改正

船舶名	(許可番号: )
船長名	
報告書取扱責任者	

報告年月日	年 月 日
許可を受けた者の氏名(個人) 又は名称(法人)	
許可を受けた者の 主たる所在地	住所: TEL: ( )

1 頁 / 1 頁中

Eメールアドレス

\*操業を行わなかった日については、  
日本時間での正午位置を記載すること

年月日			操業開始位置				航行・ 操業・ 漂泊の 違い	表面 温度 ℃	操 業 回 数	(操 業 本 時 間 開 始 時 刻)	(操 業 本 時 間 終 了 時 刻)	魚種別漁獲量(漁獲量(トン)・目廻り(キログラム))												
年	月	日	緯度		経度							かつお		びんなが		きはだ		くろまぐろ		めばち		そうだがつお		その他
			度分	NS の別	度分	EW の別						漁獲量	目廻り	漁獲量	目廻り	漁獲量	目廻り	漁獲量	目廻り	漁獲量	目廻り	漁獲量	目廻り	漁獲量
			この航海の漁獲量 (トン)							(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)					
			この航海の漁獲金額 (万円)							(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)					

特記事項:

(備考)

- 紙媒体で提出する場合、用紙の大きさは日本工業規格B4版とし、横長に使用すること。
- 操業日誌の写しを農林水産大臣に提出する場合は、漁業の許可を受けた者の名前又は名称及び住所を記載した表紙(様式自由)を添付の上、陸揚げ後10日以内に農林水産大臣へ提出すること。
- 操業日誌は航海ごとに作成し、航海中は毎日(本邦の港を出港した日から本邦の港に入港した日まで)記載すること。航海ごとに1枚の用紙を使用し、1航海当たりの航海日数が長く、報告事項が2枚以上にわたる場合は、航海日数、操業日数、陸揚金額並びにこの航海の漁獲量及びこの航海の漁獲金額の欄は1枚目のみに記載すること。
- 許可番号の欄は、番号の数字のみを記載すること。
- 漁業種類の欄は該当するものを○印で囲むこと。
- 操業区域の欄は該当するものを○印で囲むこと。
- 年月日、日本時間における正午位置及び魚種別漁獲量の欄は、毎日記載すること。なお、操業を行った日(探索のみで終わった日を含む)は操業の態勢を取った時、すなわち探索を開始した時点の位置を「操業開始位置」とし、操業を行わなかった日(航行のみを行った日、漂泊日)は日本時間での正午位置を記載すること。緯度及び経度の度分の欄には、必ず分単位までを記載し、N-Sの別及びE-Wの別の欄は該当するものを○印で囲むこと。
- 航行・操業・漂泊の欄は、操業開始位置又は日本時間での正午位置(航行のみを行った日又は漂泊日)におけるそれぞれ該当するものを○で囲むこと。(探索は操業の欄を○で囲むこと。)
- 操業開始時刻及び操業終了時刻の欄は、日本時間における時刻を24時制で1分単位まで記載すること。操業が当該操業日の翌日にまたがる場合には、操業終了時刻を48時制で表記を行うこと。(例: 操業終了時刻が翌日の午前1時30分の場合、25:30と記載すること。)。なお、操業を行わなかった日(航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日又は漂泊日)は空欄とすることとする。
- 操業開始時刻は、その日の漁ろう活動が(探索も含む)開始された時刻、操業終了時刻の欄には、その日の漁労活動が終了した時刻とする。
- 表面温度℃の欄には、操業開始位置又は日本時間での正午位置(航行のみを行った日又は漂泊日)における表面水温を小数第1位まで記載すること。
- 操業回数については、操業を行った日(探索のみで終わった日を含む)の場合は「1」を、航行のみを行った日又は漂泊日の場合は「0」を記載すること。
- 魚種別漁獲量の欄及び目廻りの欄は、トン及びキログラム単位で小数点以下2位四捨五入し、小数点以下1位まで記載することとし、目廻りは平均値を記載すること。
- こしながの漁獲があった場合には、特記事項に記載すること。
- この航海の漁獲量及びこの航海の金額の欄については、仕切り書(水揚げ伝票)に基づいた陸揚げ量をトン単位で小数点以下2位四捨五入し、小数第1位まで記載すること。

混獲生物等の情報

付録1 (11/12)  
 竿釣り 混獲生物等の情報 (1/2)

1 枚目 / 1 枚  
 (調査票の総数)

漁業種類	2 釣り					航海期間	年	月	日から	年	月	日まで
船名	許可番号	第	号	信号符号	報告取扱責任者	TEL :			( )			

年月日	カメ類						鳥類					放流または投棄した魚類							備考
	アカウミガメ	アオウミガメ	オサガメ	タイマイ	ヒメウミガメ	その他カメ類及び不明	アホウドリ類	ミズナギドリ類	オオフルマカモメ類	ペンギン類(南半球のみ)	その他の鳥類及び不明	マグロ・カジキ類		サメ類					
												尾数	魚種No.( )	ヨシキリサメ	ネズミサメ	アオザメ	その他のサメ類		
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											
	全数 生存数( )	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )	尾数	尾数	尾数	尾数 魚種No.( )	尾数 魚種No.( )											

混獲生物等の情報

1 枚目 / 1 枚  
(調査票の総数)

漁業種類	2 釣り				航海期間	年	月	日から	年	月	日まで
船名	許可番号	第	号	信号符字	報告取扱責任者	TEL:			( )		

年月日	カメ類						鳥類					放流または投棄した魚類				備考
	アカウミガメ	アオウミガメ	オサガメ	タイマイ	ヒメウミガメ	その他カメ類及び不明	アホウドリ類	ミズナギドリ類	オオフルマカモメ類	ペンギン類 (南半球のみ)	その他の鳥類及び不明	サメ類				
												マグロ・カジキ類		ヨシキリザメ	ネズミザメ	

甲らの硬い海亀：アカウミガメ、アオウミガメ、ヒメウミガメ、タイマイ、ヒラタウミガメ

マグロ・カジキ類 魚種No：①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明

サメ類 魚種No.：「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シュモクザメ類、「31」：インドシュモクザメ、

「32」：ヒラシュモクザメ、「33」：シロシュモクザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明

【記載要領】

1. 漁業種類：該当するものに○印を付すこと。試験研究等には、水産高等学校、大学等の実習船・調査船が該当する。

2. 混獲生物等の情報は、航海中毎日記載すること。

3. カメ類・鳥類：上段の総混獲数、下段にその生存数（甲板上に引き揚げた時に生存していたもの）を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入し、不明の場合は、その他及び不明の欄に記入。

4. 放流又は投棄した魚類：

(1) マグロ・カジキ類：尾数と魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明とする。

(2) サメ類：ヨシキリザメ、ネズミザメ、アオザメは尾数を、その他のサメ類は尾数と魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シュモクザメ類、「31」：インドシュモクザメ、「32」：ヒラシュモクザメ、「33」：シロシュモクザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明とする。

5. 1航海当たりの操業日数が多く報告項目が2枚以上にわたる場合は、用紙の右肩に当該報告書の総枚数とその頁数を記載すること

（例えば、総枚数が5枚の場合は1枚目の用紙に1/5、2枚目の用紙に2/5のように記載し、以下同様に記載する）。